

TAKINOMIYA NENBUTSU ODORI



夏 念仏 滝宮

2022年ユネスコ無形文化遺産登録

滝宮の 念仏踊

2024年8月25日(日)



滝宮神社 滝宮天満宮

讃岐国司の任にあった菅原道真公が、大干ばつの折に雨乞いをする恵みの雨が降り、人々が喜び踊ったのがはじまりといわれています。

滝宮念仏踊保存会





いり は 入庭

滝宮神社 / 午前8時頃～
滝宮天満宮 / 午前11時頃～

I R I H A

境外に一同揃い、菩薩を象徴する子踊りを中心に行列して境内に入場します。先導は西分八幡神社の奴組がつとめます。



踊り

滝宮神社 / 午前8時30分頃～
滝宮天満宮 / 午前11時10分頃～

O D O R I

神前に輪をつくり、神職の修祓の儀、^{しゅばつ} 雑刀の悪魔払いの後、陣羽織を着た^{なまあた} 下知が願成就の発声に合わせ、太鼓・笛・鉦・ほら貝のはやしに合わせ、太陽と月を描いたうちわをひらめかせ、周りに並ぶ警固の「ナムアミドーヤ」と節をつけて唱える歌詞にあわせて踊ります。

下知とともに、花笠をかぶった6歳～12歳の太鼓打ちは太鼓を打ち、花笠をかぶった2人の中鉦は鉦を鳴らしながら踊ります。

げん じ 下知の持つ団扇

G E N J I

下知の持つ団扇は太陽と月が描かれています。その絵は、踊組によって特徴があります。



「常例踊り」の団扇

「雨乞い踊り」の団扇

駐車場について

駐車台数には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
ことでん滝宮駅から徒歩で約5分（駐車場情報については、綾川町ホームページ等でご確認ください。）

8月関連
イベント

「滝宮の念仏踊」展示

開催期間 8月6日(火)～8月31日(土)

開催場所 綾川町立生涯学習センター

お問い合わせ先 滝宮念仏踊保存会(綾川町教育委員会内) TEL.087-876-1180